

日本薬剤学会 (APSTJ) ニュース

11

フォーカスグループ制度の導入 Introduction of Focus Groups

日本薬剤学会将来ビジョン委員会委員長
京都大学大学院薬学研究科

山下富義

FUMIYOSHI YAMASHITA

Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyoto University

フォーカスグループとは

フォーカスグループとは、研究者が共通の研究目的や関心に基づいて結集し、種々の専門分野を横断して相互に情報交換をしたり機動力高く研究活動を行う組織である。AAPS (American Association of Pharmaceutical Scientists) では約10年前から導入され、現在のところ表1に示す38個のグループが存在する。薬剤学という研究分野は広範で多面的であり、基礎から応用までの多彩な学問領域を融合し、トランスレーショナルリサーチを生み出すポテンシャルを有している。しかしながら、これまでの日本薬剤学会の年会プログラムに象徴されるように、薬剤学分野は、通常、物理系薬剤学、生物系薬剤学、医療系薬剤学などという形の分類がなされ、学会での情報交換においても細分化される研究領域の知識や技術的な側面が強調されがちである。個々の研究チャレンジをネットワーク化した目的指向のフォーカスグループは、新しい研究アイデアや目標を生み出し、また研究者間によるプロジェクト研究を推進するインキュベータ的役割を果たすことができると期待される。

研究推進の「プラットフォーム」

日本薬剤学会将来ビジョン委員会は、①日本薬剤学会会員の将来の研究ビジョンを構築する、②新たな研究戦略を構築する、③他研究領域との積極的協力体制を確立する、④新しい研究コンセプトを対外的に発信する、と

表1 AAPSで活動中のフォーカスグループ一覧(2007年11月現在)

Animal Pharmaceutics & Technology Focus Group	Microdialysis Focus Group
Bioanalytical Focus Group	Modeling and Simulation Focus Group
Bioequivalence Focus Group	Modified Release Focus Group
Chemistry, Manufacturing, and Controls Focus Group	Nanotechnology Focus Group
Computational Drug Design Focus Group	Nasal Drug Delivery Focus Group
Contract Research Organization Focus Group	Natural Products Chemistry Focus Group
Datamining, Computational Methods and Decision Support Focus Group	Nucleic Acid Based Therapeutics Focus Group
Dermatopharmaceutics Focus Group	Nutraceutical Focus Group
Drug Metabolism Focus Group	Ocular Drug Delivery & Disposition Focus Group
Drug Transport and Uptake Focus Group	Oral Absorption Focus Group
Excipients Focus Group	Pharmacogenomics (PGx) Focus Group
Generic Pharmaceuticals Focus Group	Population Pharmacokinetics and Pharmacodynamics Focus Group
Inhalation Technology Focus Group	Preformulation Focus Group
Intellectual Property Focus Group	Process Analytical Technology Process Development Focus Group
In Vitro Release and Dissolution Testing Focus Group	Prodrug Focus Group
Ligand Binding Assay Bioanalytical Focus Group	Protein Aggregation and Immunogenicity Focus Group
Lipid-Based Drug Delivery Systems Focus Group	Special Population Studies Focus Group
Manufacturing, Engineering, and Quality Focus Group	Stability Focus Group
	Sterile Products Focus Group

いう4つの使命をもって活動を行ってきた。このフォーカスグループ制度を日本薬剤学会に導入することは、

日本薬学会 (APSTJ) ニュース①

フォーカスグループ制度の導入

2007年3月に行われた日本薬学会将来ビジョン委員会主催シンポジウムの中で、同委員会からの学会に対する提言の一つとして行ったものである。さらに、フォーカスグループ活動の趣旨を広く学会員に理解していただき、その必要性を感じていただくために、2007年5月21～23日、大宮で開催された日本薬学会第22年会にて「日本薬学会へのフォーカスグループ制度の導入提案」と題した4演題からなる一般講演で発表を行った。このときの内容はPHARM TECH JAPAN 2007年8月号に詳しく報告させていただいているので、もう一度振り返っていただくと幸いです。この第22年会時の発表には日本薬学会理事が多数ご参集下さり、全体討論の中でフォーカスグループ制度の導入にご賛同いただいた。その後、この将来ビジョン委員会からの提案を理事会にてご審議いただいた結果承認を得ることとなり、いよいよその活動を実践に移す運びとなった。

現在、将来ビジョン委員会がフォーカスグループのステアリング・コミッティとしての役割を担い、フォーカスグループの構築方法および基本的な活動内容について協議を行っている。現時点ではまだ素案の段階であるが、

およその骨子は以下の通りである。

フォーカスグループ自体は会員のニーズに応えるという点で自然発生的なものが望ましく、原則として会員に対して広く公募を行い必要に応じて審査を行って採用するスタイルをとる。

活動内容としては、構成メンバーの研究推進のためのプラットフォームとして、①テーマに沿った調査研究・情報交換、②研究教育セミナーやワークショップ等の開催、③学会誌やホームページ上での活動内容の公開、などを実施するとともに、年会時におけるワークショップ企画・プログラム編成などに積極的に関与し魅力的な年会づくりに協力する。

このようにして、学会全体としての機動力・研究推進力のアップ、個々のニーズとシーズのマッチングを行い、画期的な研究成果を生み出すとともに、若手や女性研究者にも積極的にフォーカスグループの運営を委ねることで次世代リーダーの育成を目指したいと考えている。2008年5月20～22日、札幌にて開催される日本薬学会第23年会では、フォーカスグループ・キックオフ・セッションの開催を企画している。皆様にはご来場いただき、本制度のあり方について忌憚なきご意見をお聞かせ願いたい。

